



りすぐみだより

2022年度 5月号

社会福祉法人尚徳福祉会 生麦保育園

りす組に入園、進級し、1ヶ月が経ちました。新しい担任になりましたが、子どもたちは人見知りする様子もなく、スムーズに4月をスタートできました！保育室は昨年と変わりませんが、棚の位置や玩具が2歳児向けに変わり、子どもたちは「これなあに？」「やりたーい」と様々な物に興味を示しています。その時その時の子どもたちの興味関心に合わせて、様々な遊びを提供しながら楽しく過ごしていきたいと思ひます。

改めまして、1年間宜しくお願いいたします。



★こいのぼり制作★

5月5日の子どもの日に向けて、こいのぼり制作を行いました。紙に水性のペンで自由のお絵描きをしたものに、霧吹きで水をシュッシュとかけて、ペンの色が滲んで広がっていく様子を楽しみました。切り取って貼ったら「大き〜い真鯉♪」の完成！「小さ〜い緋鯉♪」は好きなシールをたくさん貼りました。「お花だ！」「これなあに？」と絵柄の付いているシールを選ぶ子もいれば、絵のないカラーシールを選ぶ子がいたり、シールを並べて貼ってみたいと様々でした。どんな風にしたのか、お子様とお話してみてください。



大好きな外あそび

お天気の良い日は、テラスや園庭に出て遊んで過ごしています。暖かくなってきて、アリやダンゴ虫、てんとう虫等たくさんの虫が顔を出すようになり、子どもたちも興味を示しています。興味はあって少し触ってみたいくて手を伸ばしてみますが、やっぱり怖いようで手を引っ込めて観察しています。保育園の園庭にいるアリと公園のアリでは大きさが全く違うので、子どもたちと一緒に探してみたいなと思ひます。また、ぞう組（5歳児）でカメを飼っています。園庭に出ると毎回見に行っています。暖かい時期はカメも声に反応してよく動くので、「みどりちゃん！」と呼ぶと飼育ケースの中で動いたり見たりするので、毎回反応を楽しんでいるりす組の子どもたちです。

★りす組の生活について★

今年は乳児クラス最後の1年です。まだまだ小さい子どもたちですが1年後には幼児クラスの仲間入りです。この1年で生活習慣を中心に自分でできることを増やしていきます。

着替えは今は保育者が手伝いながら行っていますが、後半は自分で着替えられるようにしていきます。サイズが小さかったりピッタリ過ぎたり、ボタンがあつたりすると、自分で脱ぎ着するのが難しいため、着替えやすく少しゆとりのある物を選んで頂けたらと思ひます。

また、オムツ交換の度にトイレに行って便器に座るようにしていますが、タイミングが合えばトイレで排尿できる子が増えてきています。今後、個々の様子に合わせて布パンツを穿いてのトイレトレーニングを順次始めていきたいと思ひます。トイレトレーニングは子どものタイミングが大切で、早ければ良いというものではありませんので、子どもたちの様子、やる気、タイミングをみて声を掛けさせて頂きますので、ご協力宜しくお願いいたします。

お願い

- ★着替え、靴、オムツ、上着、コップ等すべての持ち物に分かりやすく名前を書いてください。使っているうちに消えてしまうこともありますので、こまめに確認もお願いします。
- ★園の置き靴を毎週持ち帰り、洗濯をお願いします。サイズの合わない靴を履いていると、足の変形や成長の妨げにも繋がりますので、持ち帰った際にはサイズの確認も宜しくお願いいたします。



5月21日(土)にクラス懇談会があります。(コロナの感染状況により、中止になることもあります)ご家庭での様子や園での生活の流れ等、保護者の皆さまとお話したいと思ひます。詳細は後日お知らせします。